

私立大学キャンパスシステム研究会 次世代情報システム検討分科会
テーマ:AIを活用し学生生活の質を向上する
@Fujitsu Osaka Hub

学生×教員×職員協働で進める 生成AIサービス開発の実践

～ローコード開発からライブコーディングへの展望～

2026年3月3日(火)
学校法人日本女子大学
管理部 システム課
本間 隼人



本間 隼人

Homma Hayato

学校法人日本女子大学
管理部 システム課

プロフィール

- 民間企業、国立大学を経験
日本女子大学入職後、学園DX推進に従事。
- ・勤怠管理システムの導入
 - ・図書館システムのクラウド化
 - ・学園基幹システムの更改
 - ・DX人材育成施策の立案と運営
 - ・メディアセンターのDX推進（サービスレベル向上の各種施策）
 - ・**学園専用生成AI対話プラットフォームの内製開発**
 - ・学園IR (Institutional Research) 基盤の内製開発
 - ・附属校園（幼小中高）働き方改革/DX推進

etc..

趣味



くいだおれ

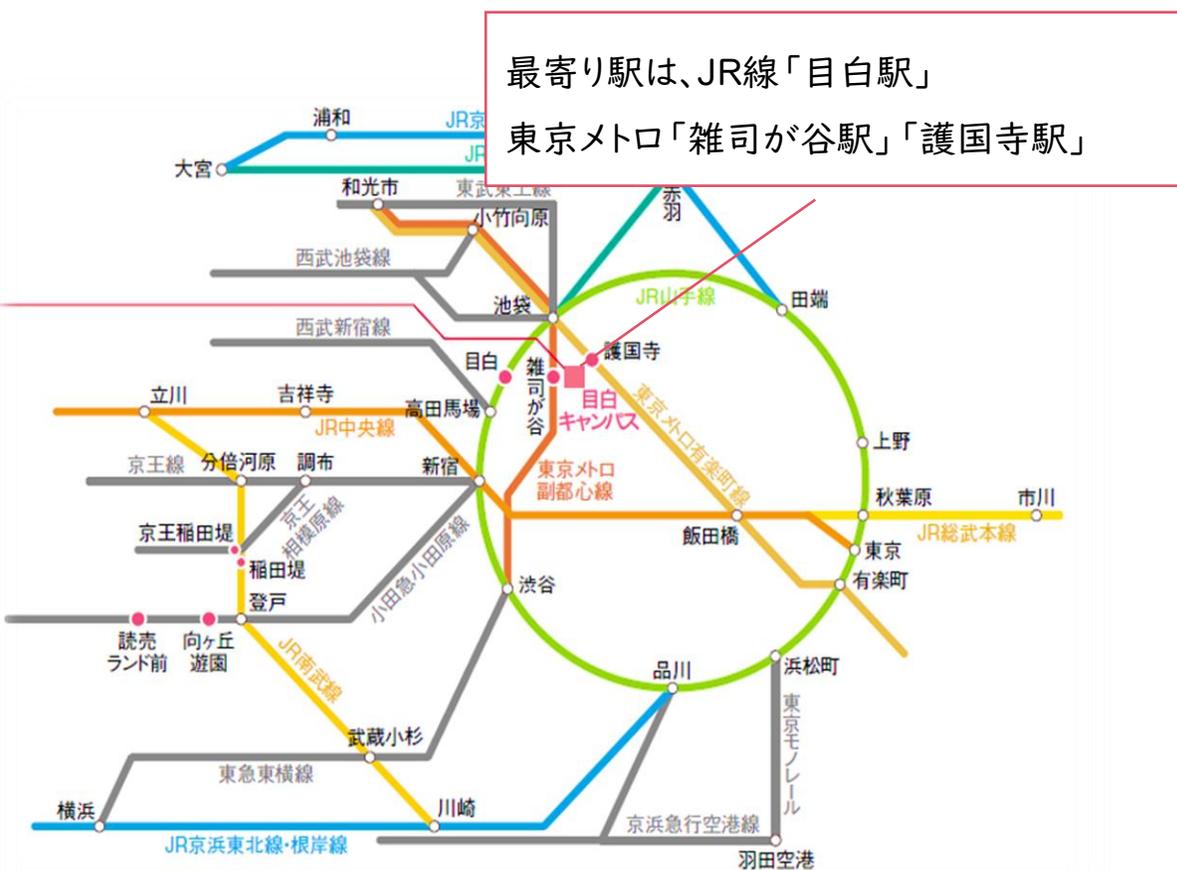


日本女子大学
DX事例



LinkedIn

- 文京区目白台にキャンパスを置く、7学部16学科を擁する女子の総合大学
- 国際文化学部（2023年度）、建築デザイン学部（2024年度）、食科学部（2025年度）を開設、2027年度に経済学部（仮称）を構想中であり、改革を進めている大学



2023年度

国際文化学部 ・国際文化学科



家政学部

- ・児童学科
- ・被服学科
- ・家政経済学科



2024年度

建築デザイン学部 ・建築デザイン学科



文学部

- ・日本文学科
- ・英文学科
- ・史学科



2025年度

食科学部 ・食科学科
・栄養学科



人間社会学部

- ・現代社会学科
- ・社会福祉学科
- ・教育学科
- ・心理学科



2027年度

経済学部（仮称） ・経済学科（仮称）



理学部

- ・数物情報科学科
- ・化学生命科学科



1. 日本女子大学のDX取組

- 1-1. 日本女子大学のDX取組(人材育成)
- 1-2. 日本女子大学のDX取組(データ基盤)

2. 生成AI対話プラットフォーム(JWU-GPT)

- 2-1. 生成AI対話プラットフォームの検討背景
- 2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要
- 2-3. 検索拡張生成(RAG)を活用した学内情報検索機能
- 2-4. ローコード開発

3. 生成AIサービス学生開発ワーキング

- 3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要
- 3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組
- 3-3. 対面ワーキング
- 3-4. 構築ワーキング
- 3-5. 学生アンケート

4. 学生×教員×職員協働の今後

- 4-1. バイブコーディング
- 4-2. バイブコーディングの検証
- 4-3. 今後の展望

1. 日本女子大学のDX取組

- 1-1. 日本女子大学のDX取組(人材育成)
- 1-2. 日本女子大学のDX取組(データ基盤)

2. 生成AI対話プラットフォーム (JWU-GPT)

- 2-1. 生成AI対話プラットフォームの検討背景
- 2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要
- 2-3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した学内情報検索機能
- 2-4. ローコード開発

3. 生成AIサービス学生開発ワーキング

- 3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要
- 3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組
- 3-3. 対面ワーキング
- 3-4. 構築ワーキング
- 3-5. 学生アンケート

4. 学生×教員×職員協働の今後

- 4-1. バイブコーディング
- 4-2. バイブコーディングの検証
- 4-3. 今後の展望

I. 日本女子大学のDX取組



電子出席アプリ
(e-出席カード)



通信教育課程
ポータル更改



電子稟議システム

社員ID	氏名	勤怠	3/27(土)	3/27(日)	勤怠	出勤	退勤	時間
0702	山田	出勤	09:00-17:00		出勤	08:50	16:50	1:00
0703	山田	出勤	09:00-17:00		出勤	08:50	16:50	1:00
0704	山田	出勤	09:00-17:00		出勤	08:50	16:50	1:00
0705	山田	出勤	09:00-17:00		出勤	08:50	16:50	1:00
0706	山田	出勤	09:00-17:00		出勤	08:50	16:50	1:00

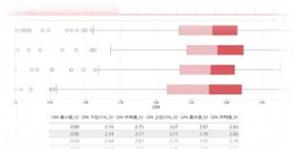
勤怠管理システム



Web出願
入試管理システム



機器セルフレンタルシステム



学園IR強化

iliswave-

図書館システム
クラウド化



仮想デスクトップ環境検証



学生ポートフォリオ



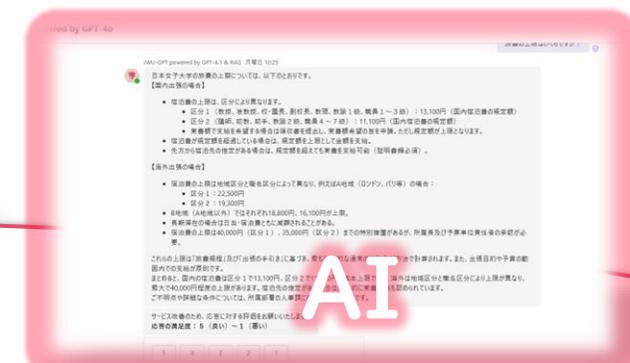
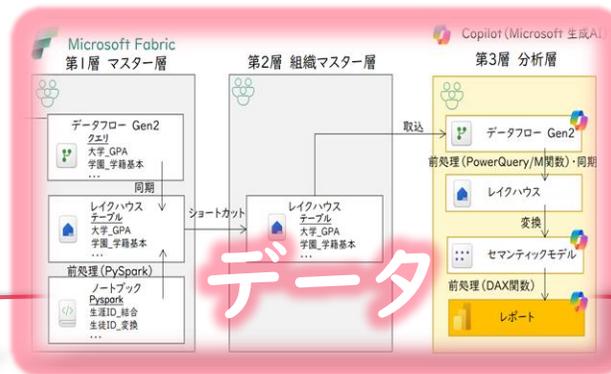
キャリア支援
クラウドサービス



通信教育課程
Web出願システム



人材



AI

DX創生プラットフォーム

I-1. 日本女子大学のDX取組（人材育成）



電子出席アプリ
(e-出席カード)



通信教育課程
ポータル更改



電子稟議システム



氏名	性別	生年	所属	勤務	出勤	遅刻	早退
0702 (A)	男	1990-07-00	学芸	16:30-17:00	16:30	16:30	16:30
0703 (B)	女	1990-07-00	学芸	16:30-17:00	16:30	16:30	16:30
0704 (C)	男	1990-07-00	学芸	16:30-17:00	16:30	16:30	16:30
0705 (D)	女	1990-07-00	学芸	16:30-17:00	16:30	16:30	16:30
0706 (E)	男	1990-07-00	学芸	16:30-17:00	16:30	16:30	16:30

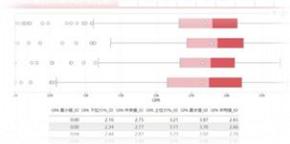
勤怠管理システム



Web出願
入試管理システム



機器セルフレンタルシステム



学園IR強化

iliswave-

図書館システム
クラウド化



仮想デスクトップ環境検証



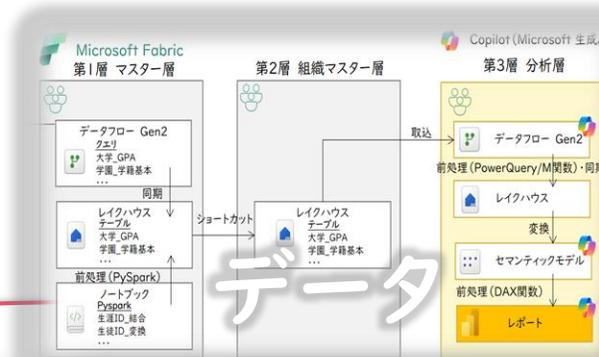
学生ポートフォリオ



キャリア支援
クラウドサービス



通信教育課程
Web出願システム



DX創生プラットフォーム

1-1. 日本女子大学のDX取組（人材育成）

- 日々の業務や組織の目標達成のため、課題解決に日々取り組みを実施
- 外部研修受講や定期的な報告会によって改革のスキルを醸成する
- さらに、継続的にDXコア人材を入れ替え、育成のバトンを継承する仕組み化



DXコア人材



チーム別で研修



定期的な報告会



チーム毎サポーターが1名



管理職全員対面で参加

- 本学のDXコア人材育成のスキームでは、次の3つのメリットを同時に享受できる
人材の改革：問題解決能力の開発による人材の改革
実務の改革：実践側問題解決研修により実務の改革施策が創出
組織の改革：各種報告会にて取組を管理職を含めた全職員への共有による組織変革

人材の改革



DXコア人材
育成人数

16名

全職員の10%
(約160名)

実務の改革



DXコア人材
業務改革件数

累計 **21** 件

各部署で業務改革の
自律的な実行

組織の改革



学内
報告回数

累計 **53** 回

全職員を参加対象とした
報告会を継続



事例
外部公開件数

累計 **15** 件

2025年度
2023年度比 5倍

DXコア人材の取り組み一例

広報課

ブランディング・広報活動の強化

理事長による方針説明
インナーブランディング施策の推進

総務課

規程運用にかかわる業務効率化

規定のデジタル化
ワークフローのオンライン化

経理課

学費納入にかかわる問合せの削減

専用サイト導入検討
案内メール改善による問合せ削減

システム課

柔軟なコンピュータ演習室の展開

PC配置最適化
BYOD/VDI導入検討

入試課

入試出願に関する問合せの削減

動画・Webサイト案内強化
フォーム改善による対応効率化

研究支援課

研究費執行の不備削減

Amazonビジネス導入による
物品購入フロー改善・不備削減

学生支援課

学内奨学金の見直し

データ分析に基づく制度見直し
情報発信の強化

国際交流課

交換留学生の出願手続き効率化

FormsとPowerAutomateを
活用した出願プロセスの自動化

通信教育課

教職業務の活性化

マニュアル整備
AIチャットボット検証による業務サポート

図書館課

図書延滞率の抑制

Web貸出更新の周知強化
通知メール改善による延滞抑制

1-2. 日本女子大学のDX取組 (データ)



電子出席アプリ
(e-出席カード)



通信教育課程
ポータル更改



電子稟議システム



学号	氏名	出席状況	出席日数	出席率
0702 (A)	田中 花子	出席	15/15	100%
0702 (B)	田中 花子	欠席	14/15	93.3%
0702 (C)	田中 花子	出席	15/15	100%
0702 (D)	田中 花子	欠席	14/15	93.3%
0702 (E)	田中 花子	出席	15/15	100%

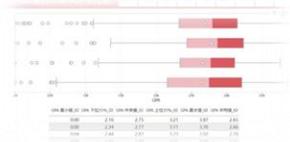
勤怠管理システム



Web出願
入試管理システム



機器セルフレンタルシステム



学園IR強化

iliswave-

図書館システム
クラウド化



仮想デスクトップ環境検証



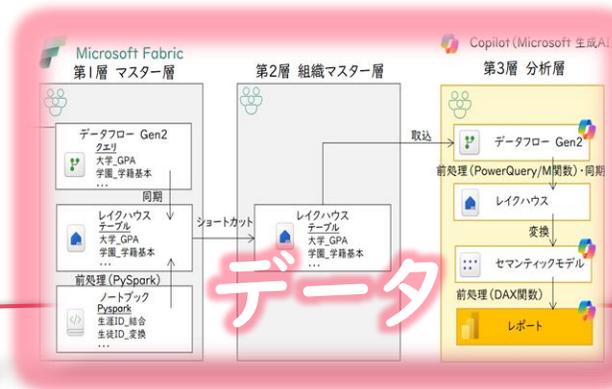
学生ポートフォリオ



キャリア支援
クラウドサービス



通信教育課程
Web出願システム



DX創生プラットフォーム

1-2. 日本女子大学のDX取組 (データ)

- ・本学は、附属校園を含む全データを統合し、一元的に管理・分析する仕組みを構築
- ・「エンロールマネジメント」を超えた「フル エンロールマネジメントマネジメント」を実現し教育の質向上や組織全体の意思決定に役立てることを目指す



日本女子大学
附属豊明幼稚園



日本女子大学
附属豊明小学校



日本女子大学
附属中学校



日本女子大学
附属高等学校



日本女子大学



日本女子大学大学院

フル・エンロールメントマネジメント



志願者



在学生



卒業生

入学

エンロールメントマネジメント

卒業

- ✓ 入試種別
- ✓ 入試得点
- ✓ 出身高校
- ✓ 高校成績 etc..

- ✓ GPA
- ✓ 履修科目
- ✓ 出席
- ✓ 学部学科 etc..

- ✓ 就職先
- ✓ 職種
- ✓ 業界
- ✓ 業種 etc..

1-2. 日本女子大学のDX取組（データ）

- 目指すデータ基盤の実現のために次の3つの課題を整理した。
- 課題①: 統合データ分析基盤へのデータ連携による円滑なデータ共有
- 課題②: 生涯IDによる学生識別の一貫性確保
- 課題③: 自立分散的なデータ駆動組織の強化

基幹システム 大学システム 中学・高校システム 小学校システム



出力 提供

依頼



基幹システム 大学システム 中学・高校システム 小学校システム



① データ集約



統合データ分析基盤

	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学
氏名	日本花子	日本花子	日本花子	日本花子	日本花子
学籍番号	123	456	789	101	112
生涯ID	001	001	001	001	001

②

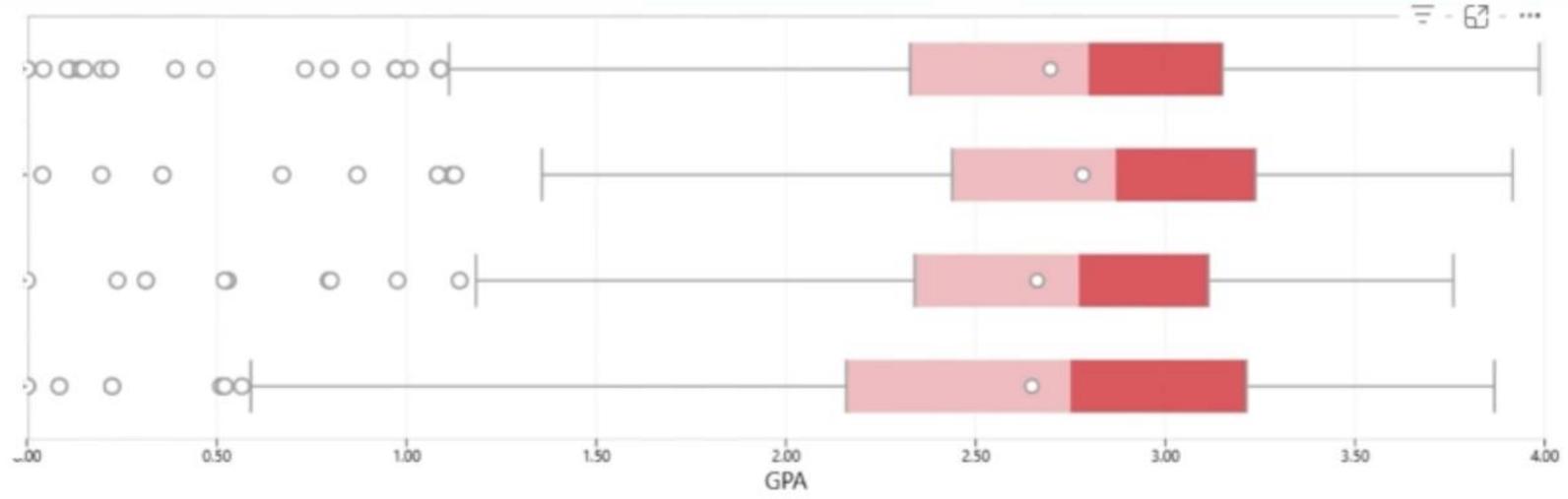
データ活用



目標

入試種別 & GPA分布比較

2012	2013	2014	2015	2017	2018	2019	2020	2021
------	------	------	------	------	------	------	------	------



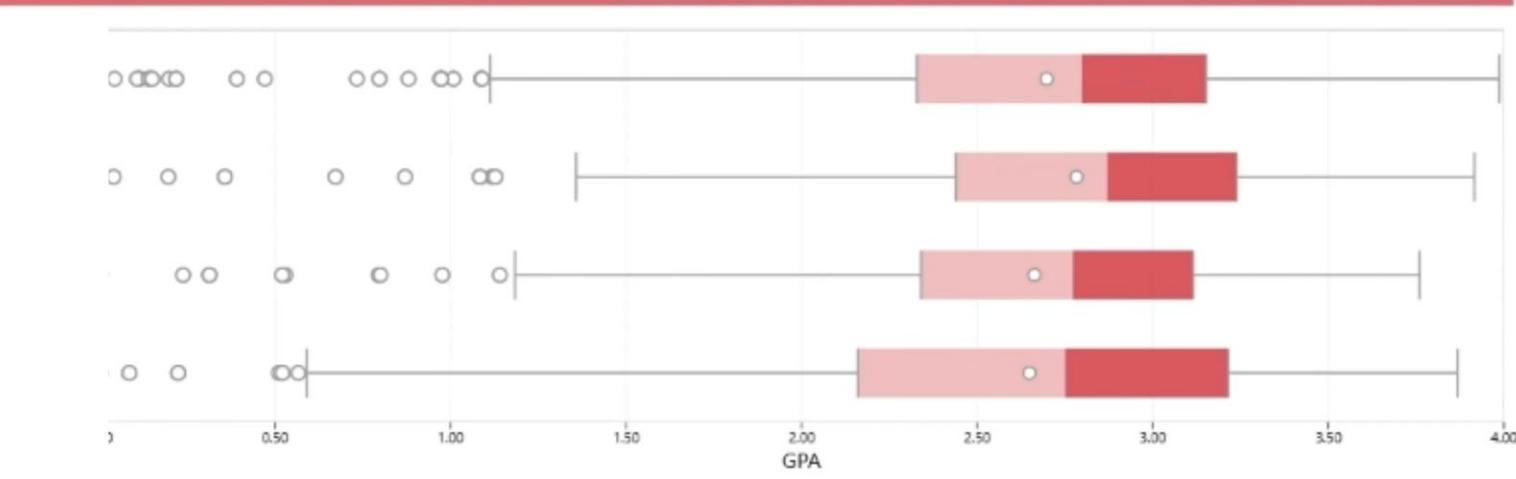
GPA 最小値_02 GPA 下位25%_02 GPA 中央値_02 GPA 上位25%_02 GPA 最大値_02 GPA 平均値_02



入試形態と大学での学生のGPAの分布を表すグラフです。

入試種別 & GPA分布比較

2012 2013 2014 2015 2017 2018 2019 2020 2021



番号_入試種別 GPA 総数_02 GPA 最小値_02 GPA 下位25%_02 GPA 中央値_02 GPA 上位25%_02 GPA 最大値_02 GPA 平均値_02

フィルター

Copilot

- Understand the data
- Dig deeper
- Write a summary

Ask a question about this report

Copilot は AI を使用しています。コンテンツに間違いがないか常に確認してください。 [詳細情報](#)

Power Query | データフローが保存されました | 検索 (Alt + Q)

ホーム | 変換 | 列を追加します | 表示 | ヘルプ

- データを取得
- 最新のソース
- データの入力
- 接続の管理
- 既定のデータ変換先
- オプション
- パラメーターの管理
- クエリ
- 列の管理
- 行の削減
- 並べ替え
- 変換
- 結合
- Copilot
- テンプレートのエクスポート

クエリ [6] | Table.ExpandTableColumn("#マージされたクエリ数 2",

生涯ID	学籍番号	1.2 GPA	入学学校種別	番号_入学学校	入学年月日
1		1.621			
2		2.462			
3		2.511			
4		2.5			
5		2.132			
6		1.268			
7		1.714			
8		2.326			
9		0.3			
10		1.224			
11		2.963			
12		2.366			
13		1.149			
14					

列: 6 行: 99+ | 既定の宛先: lakehouse

クエリの設定

名前: report_table

適用されたステップ

- マージ...
- gakuen_...
- マージ...
- henkan_...
- マージ...
- gakuen_...

データ同期先: レイクハウス

Copilot

からデータを取得する...

fx 次の手順を追加します...

このクエリについて説明する

入学年月日の列から入学年度の列を作成して

AIによって生成されたコンテンツに誤りがある可能性があります。使用する前に、正確で適切であることを確認してください。 [利用規約の確認](#)

I. 日本女子大学のDX取組



電子出席アプリ
(e-出席カード)



通信教育課程
ポータル更改



電子稟議システム

勤怠管理システム

社員ID	氏名	勤怠	3ヶ月平均	勤怠日数	出勤率	遅刻	早退
0001	山田 太郎	◎	99.5%	19/05-17/05	99.5%	0	0
0002	田中 花子	◎	99.0%	19/05-17/05	99.0%	1	0
0003	佐藤 健一	◎	98.5%	19/05-17/05	98.5%	2	0
0004	鈴木 美咲	◎	98.0%	19/05-17/05	98.0%	3	0
0005	高橋 誠二	◎	97.5%	19/05-17/05	97.5%	4	0

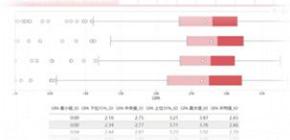
勤怠管理システム



Web出願
入試管理システム



機器セルフレンタルシステム



学園IR強化

iliswave-

図書館システム
クラウド化



仮想デスクトップ環境検証



学生ポートフォリオ



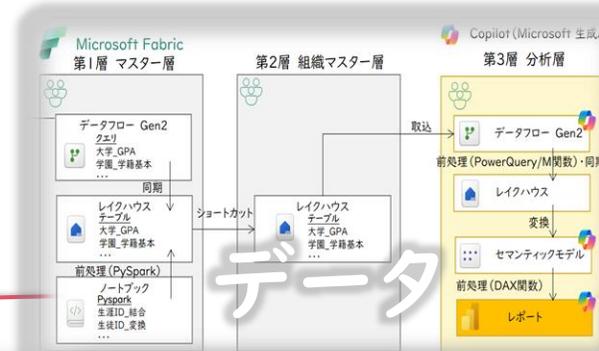
キャリア支援
クラウドサービス



通信教育課程
Web出願システム



人材



AI

DX創生プラットフォーム

1. 日本女子大学のDX取組

- 1-1. 日本女子大学のDX取組(人材育成)
- 1-2. 日本女子大学のDX取組(データ基盤)

2. 生成AI対話プラットフォーム(JWU-GPT)

- 2-1. 生成AI対話プラットフォームの検討背景
- 2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要
- 2-3. 検索拡張生成(RAG)を活用した学内情報検索機能
- 2-4. ローコード開発

3. 生成AIサービス学生開発ワーキング

- 3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要
- 3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組
- 3-3. 対面ワーキング
- 3-4. 構築ワーキング
- 3-5. 学生アンケート

4. 学生×教員×職員協働の今後

- 4-1. バイブコーディング
- 4-2. バイブコーディングの検証
- 4-3. 今後の展望

【目的】全教職員の生成AI利活用環境を整備する（2023年度）

【課題①】利用コスト

全教職員（約1,400名）に生成AIサービスを利用させると非常に高額
⇒ 約5,400万円/年（=240ドル/人・年※×約1,400人×約150円/ドル）

※OpenAI社 ChatGPT Plusの場合（2024年度8時点）

【課題②】ユーザー管理

検討当初、高精度な生成AIサービスの利用は、個人契約のみ
システム管理者側でのユーザーの権限や機能制限が不可能

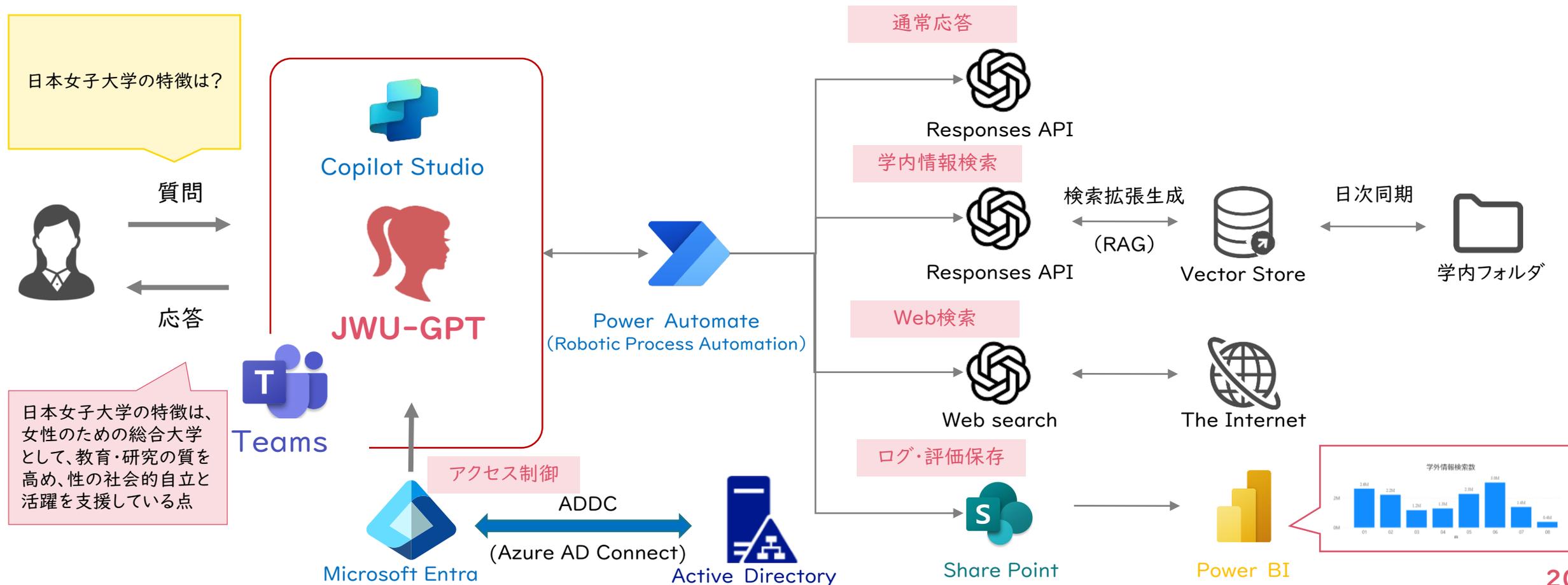
【課題③】意図しない情報流出

入力した情報がサービス提供事業者の
LLM（Large Language Models、大規模言語モデル）の学習に利用されるリスク

生成AI対話プラットフォーム（JWU-GPT）を内製で開発

2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要

- 日本女子大学専用の生成AI対話プラットフォーム (JWU-GPT) を **2023年度より全教職員に提供**
- すでに全教職員に提供されていた **TeamsをUI** に、**OpenAI社のChatGPTのAPI経由** で問合せ
- 生成AIの技術動向に応じて、①通常問合せ ②**学内情報検索** ③Web検索機能を追加





検索 (Ctrl+E)



日本女子大学



本集



お知らせ 最近行われた更新の中で、以前に非表示にした可能性のある一部のチームが再び表示されるようになっています。表示されないようにする場合、[チーム] ビューから簡単に非表示にすることができます。



アクティビティ



チャット



チーム



課題



カレンダー



通話



JWU-GPT p...



アプリ



JWU-GPT powered by GPT-4o

はい

いいえ

11:32

いいえ

JWU-GPT powered by GPT-5 & RAG 11:32

ありがとうございました！

再度、私と会話したい場合は、ボタンを押してください。
ボタンが押せない場合は、次のように入力してください。

- (1) 会話を開始：**gpt**を入力
- (2) 学内情報を検索：**in**を入力
- (3) Web情報を検索：**web**を入力

各機能については[こちら](#)をご確認ください。

会話を開始

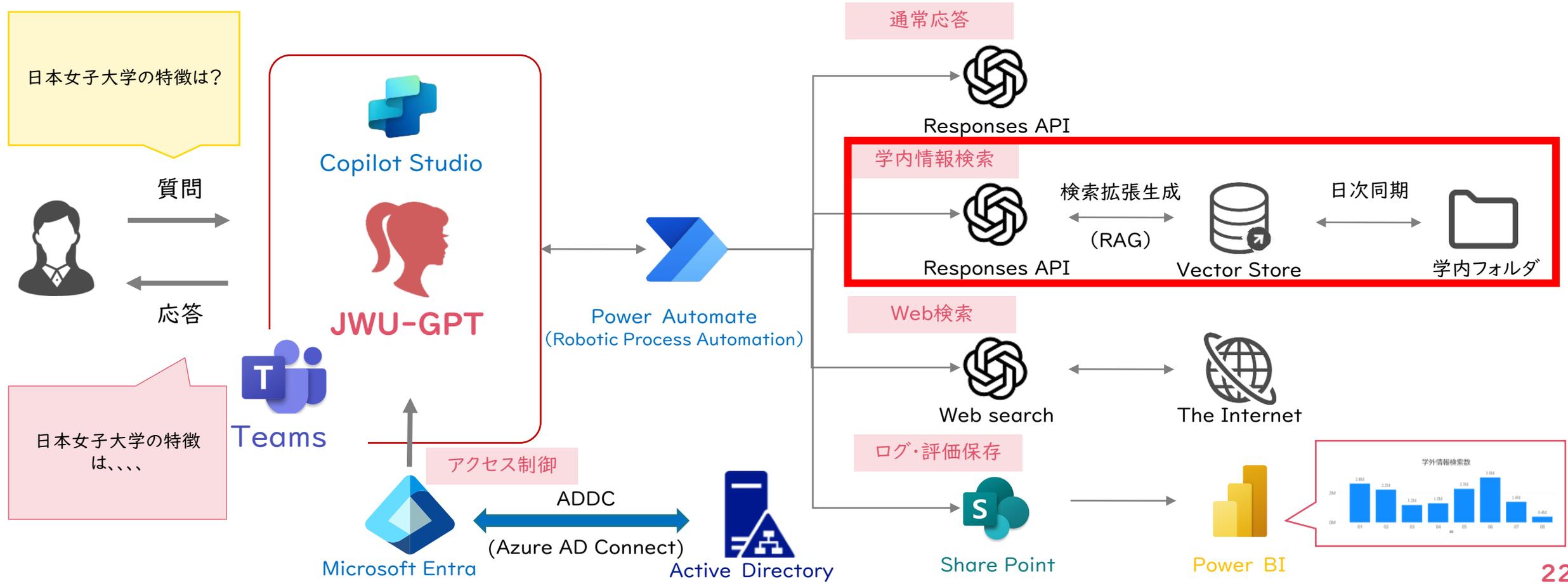
学内情報を検索

Web情報を検索

メッセージを入力



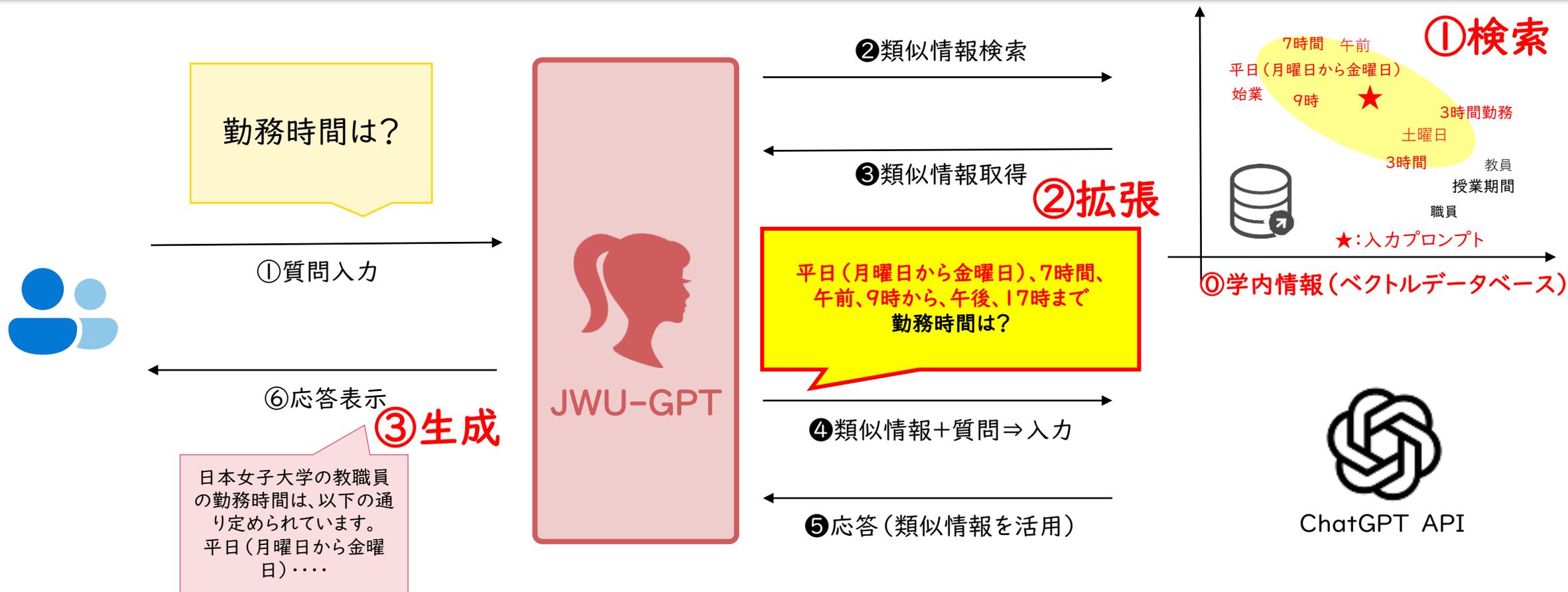
- 学内情報検索機能に伴う、検証と改善を経て全学へリリースした内容をご説明



2-3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した学内情報検索機能

- 検索拡張生成 (RAG) では、以下の仕組みにより、学内情報に関して応答が可能になる
 - 事前に学内情報をベクトルデータベース※に格納
 - 入力された質問に対し、ベクトルデータベースから回答になりうる類似情報を**検索【①】**
 - 質問に類似情報 (回答になりうる情報) を追加 (**拡張【②】**) を LLM に入力
 - 類似情報を活用し、学内情報に関して回答を**生成【③】**

※テキストを数値ベクトルで保存するデータベース、単語や文章間の類似度を距離で計算可能となる



- 学生・教職員からの問合せの一次窓口を想定し、20組織の参画を得て機能評価を行った
- 参画組織は、想定質問を作成し、その質問に対する生成AIの応答に定量評価を実施、その結果に応じて、設定を見直し、再度、定量評価を行い目標値に達するまで繰り返す

参画組織				番項	順手	容内理処	対応組織
法人企画部	学園企画課	教学企画課	広報課	①	想定質問例の作成	学内利用を想定した質問例を作成	織組画参
総務課	人事課	経理課	施設課	②	データの格納	想定質問に回答するための参考情報を共有フォルダに格納	織組画参
入試課	研究支援課	学修支援課	学生支援課	③	応答の自動生成	全想想定質問に対して応答を生成	ムテストシ課
キャリア支援課	国際交流課	保健管理センター	通信教育課	④	定量評価の入力	応答内容を5段階で評価 ◎:適切な回答 ○:参考となる回答 △:誤りを含む回答 ▲:参考にならない・誤った回答 ×:問題を含む回答	織組画参
生涯学習課	図書館課	成瀬記念館事務室	検収室	⑤	設定の見直し	評価結果に基づき設定を調整 ・プロンプト ・各種パラメーター ・格納データ	織組画参 ムテストシ課
計20組織				⑥	再検証	③、④を再度実施	織組画参 ムテストシ課

2-3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した学内情報検索機能

- 学内情報の検索機能のリリースの目標値を「適切な回答(◎)」と「参考となる回答(○)」が全体の80%以上になることと定めた。
- 評価1回目の結果から設定の見直しを行い、評価2回目は評価値が90.3%となり、全教職員への展開を判断した。

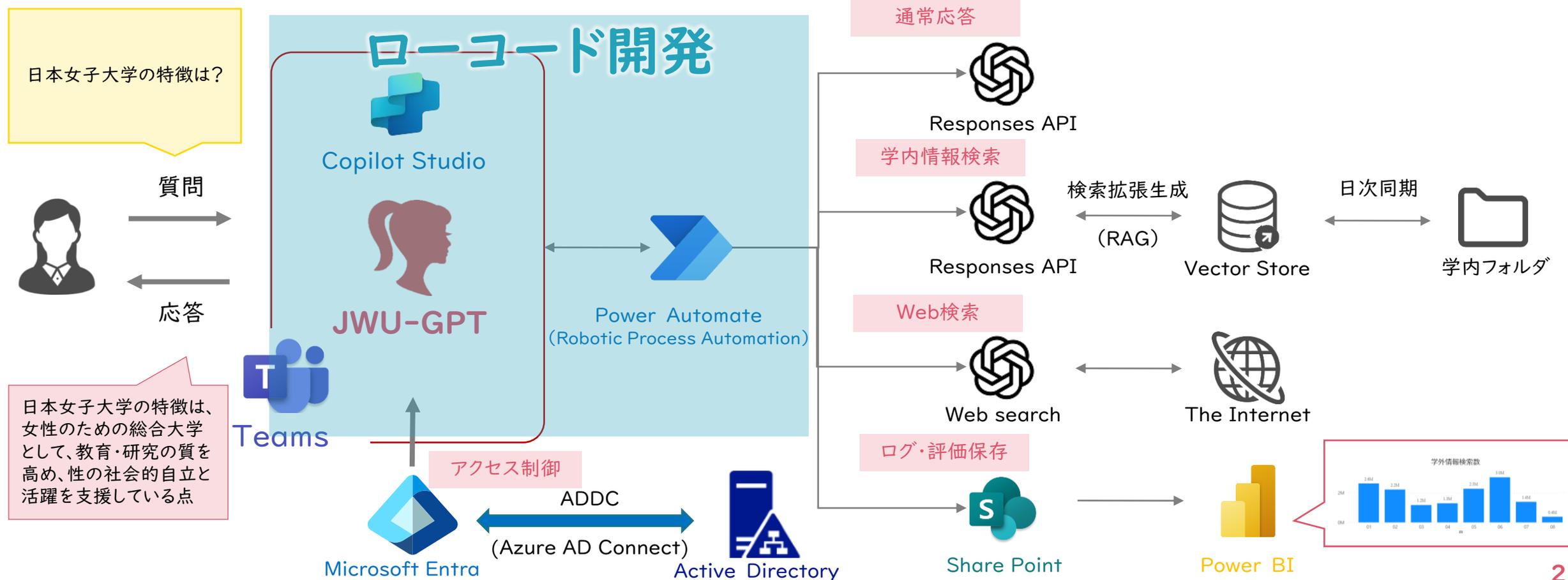
	想定質問数 (未評価除く)	適切な回答	参考となる 回答	誤りを含む 回答	参考にならない ・誤った 回答	問題のある 回答
		◎	○	△	▲	×
評価1回目	151	77	39	25	6	4
		51.0%	25.8%	16.6%	4.0%	2.6%
		76.8%		23.2%		
評価2回目	165	95	54	12	2	2
		57.6%	32.7%	7.3%	1.2%	1.2%
		90.3%		9.7%		

設定の見直し

見直し項目	詳細
プロンプト調整 (プロンプトエンジニアリング)	プロンプトに「日本女子大学の学内情報を用いて正確性を重視し答えて下さい。」と追加
temperature調整	1 → 0.5 に変更し、出力の安定性と正確性を重視
回答元データ差し替え	不正確または不足していた情報を更新

2-4. ローコード開発

- 日本女子大学専用の生成AI対話プラットフォーム (JWU-GPT) を **2023年度より全教職員に提供**
- すでに全教職員に提供されていた **TeamsをUIに、OpenAI社のChatGPTのAPI経由** で問合せ
- 生成AIの技術動向に応じて、①通常問合せ ②**学内情報検索** ③Web検索機能を追加





強化された会話とコパイロットによるインテリジェント オーサリングに対応した、新しいスタジオ エクスペリエンスを実際にお試しください。

今すぐ試す

自分のコパイロット

+ 新しいコパイロット

検索

JWU-GPT
生成AIサービス学生開発ワーキング

自分のコパイロット

自分が所有しているコパイロットをすべて表示しています。

名前	所有者	チーム
[ハンズオン] 生成AI学生開発WG	本間 隼人	生成AIサービス学生開発ワ...
A I メジロ先生	本間 隼人	生成AIサービス学生開発ワ...
JWU-GPT powered by GPT-5 & RAG	本間 隼人	JWU-GPT

+ コパイロットの作成

- 日本女子大学専用の生成AI対話プラットフォーム (JWU-GPT) を **2023年度より全教職員に提供**
- すでに全教職員に提供されていた **TeamsをUIに、OpenAI社のChatGPTのAPI経由** で問合せ
- 生成AIの技術動向に応じて、①通常問合せ ②**学内情報検索** ③Web検索機能を追加

ローコード開発なら学生も サービス開発ができるのでは？

日本女子大学の特徴は、女性のための総合大学として、教育・研究の質を高め、性の社会的自立と活躍を支援している点



1. 日本女子大学のDX取組

- 1-1. 日本女子大学のDX取組(人材育成)
- 1-2. 日本女子大学のDX取組(データ基盤)

2. 生成AI対話プラットフォーム (JWU-GPT)

- 2-1. 生成AI対話プラットフォームの検討背景
- 2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要
- 2-3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した学内情報検索機能
- 2-4. ローコード開発

3. 生成AIサービス学生開発ワーキング

- 3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要
- 3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組
- 3-3. 対面ワーキング
- 3-4. 構築ワーキング
- 3-5. 学生アンケート

4. 学生×教員×職員協働の今後

- 4-1. バイブコーディング
- 4-2. バイブコーディングの検証
- 4-3. 今後の展望

3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要

- 2024年12月、日本女子大学 理学部 数物情報科学科にて参加者募集を行い、学科所属の合計24名が参画
- 学生向けの検索拡張生成 (RAG) を活用した生成AI問い合わせサービスのローコード開発をテーマに取り組んだ



生成AIサービス学生開発ワーキングのメンバー

【目的①】

学生向けに**生成AI問合せサービス**を提供し、学園サービスレベルを向上を図る

【目的②】

先端技術を活用したサービス企画・開発・リリースを体験し、今後の学業や研究や就職等に向けた興味関心を養う

【目的③】

学生の視点を活かした、大学のデジタル改革 (DX) を支援する体制を検証する

3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組

- 対面ワーキングでは、生成AI問い合わせサービスに必要な技術をハンズオンで学び、サービスのリリースに向けた企画をグループワークで実施
- 構築ワーキングでは、3チームに分かれて、実際のサービスを構築

実施日	実施内容
2024年12月19日	キックオフ
2025年 2月19日	対面ワーキング ・ハンズオン ・グループワーク
2025年 3月14日	構築ワーキング ・Copilotチーム ・APIチーム ・Logチーム

対面ワーキング	
オープニング（対面ワーキングについて）	
ハンズオン	1. シナリオ型チャットボットを体験しよう！
	2. 生成AI型チャットボットを体験しよう！
	3. 検索拡張生成（RAG）を活用した生成AI問い合わせサービスを体験しよう！
グループワーク	4. 企画書作成作成
	5. グループ内議論、グループ案策定
	6. 各グループ企画プレゼン
クロージング（振り返り・今後の予定）	

3-3. 対面ワーキング (ハンズオン)

- 生成AI型問合せサービスは、Microsoft社とOpenAI社のサービスを利用し構築する
- ハンズオンでは、ユーザーに近い側から手を動かして学ぶカリキュラムとした

	ユーザーインターフェース	問合せエージェント	自動化ツール	生成AI 言語モデル	ベクトルデータベース
提供企業					
ツール	<p>Teams</p> 	<p>Copilot Studio</p>  <p>※Copilot:副操縦士</p>	<p>Power Automate</p> 	<p>GPT-5-mini (API) 大規模言語モデル</p> 	<p>Response API ベクトルストア</p> 
機能	質問入力	質問を受取 応答を表示	質問を生成AIに渡す 応答をCopilotに渡す	応答を生成	学内情報を保存・検索
ハンズオン	1. シナリオ型チャットボットを体験しよう!		2. 生成AI型チャットボットを体験しよう!		3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した生成AI問合せサービスを体験しよう!



3-3. 対面ワーキング (ハンズオン)

1. シナリオ型チャットボットを体験しよう!

ユーザーインターフェース	問合せエージェント	自動化ツール	生成AI 言語モデル	ベクトルデータベース
提供企業 Microsoft	Microsoft Copilot Studio	Power Automate	OpenAI GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
ツール Teams	Copilot Studio	Power Automate	GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
機能	質問を受取 応答を表示	質問を生成AIに渡す 応答をCopilotに渡す	応答を生成	学内情報を保存・検索
ハンズオン	1. シナリオ型チャットボットを体験しよう!		2. 生成AI型チャットボットを体験しよう!	

シナリオ型チャットボットの基本知識①

- シナリオ型チャットボットは、表示した選択肢に沿って問い合わせを選択、回答を表示する仕組み
- 事前に用意されたQ&Aシナリオに基づいて、回答を表示する。
- システム管理者はこのシナリオを事前に構築、更新があれば都度シナリオを書き換える必要。

シナリオ型チャットボット

選択肢1

- 学内Wi-Fiについて
- 学生ポータルについて
- ソフトウェアについて
- アカウントについて

選択肢2

- Officeについて
- Adobeについて
- ファイル転送ソフトについて
- セキュリティソフトについて

ファイル転送ソフト (WinSCP) は、コンピュータ演習室1~10で利用できます。

ごんには！メディアセンターで、チャットボットを利用しました。例えば次のように聞いてみてね。

プリンタポイントを追加したい

Wi-Fiを利用したい Zoomを入れたい

自宅からコンピュータ教室のPCを使いたい

質問を入力...

メディアセンターWebサイト

[ハンズオン] Microsoft Copilot Studio for Teamsの設定

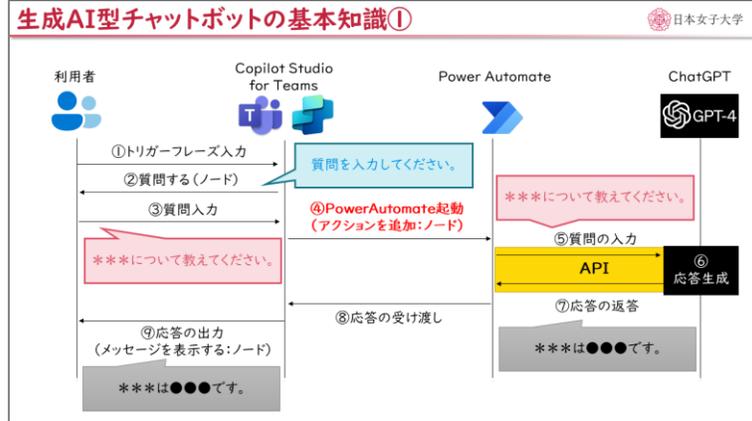
- Microsoft 365にログイン
- メニュー > Teamsをクリック ※Teamsが表示されていない場合は、その他のアプリからTeamsを選択
- アプリをクリック > Microsoft copilotで検索 > Microsoft copilotの追加をクリック



2. 生成AI型チャットボットを体験しよう!

ユーザーインターフェース	問合せエージェント	自動化ツール	生成AI 言語モデル	ベクトルデータベース
提供企業 Microsoft	Microsoft Copilot Studio	Power Automate	OpenAI GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
ツール Teams	Copilot Studio	Power Automate	GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
機能	質問を受取 応答を表示	質問を生成AIに渡す 応答をCopilotに渡す	応答を生成	学内情報を保存・検索
ハンズオン	1. シナリオ型チャットボットを体験しよう!		2. 生成AI型チャットボットを体験しよう!	

生成AI型チャットボットの基本知識①



①トリガーフェーズ入力

②質問する(ノード)

③質問入力

④PowerAutomate起動 (アクションを追加:ノード)

⑤質問の入力

⑥回答生成

⑦回答の返答

⑧回答の受け渡し

⑨回答の出力 (メッセージを表示する:ノード)

***は●●●です。

生成AI型チャットボットの基本知識②

- PowerAutomate経由でChatGPTのAPIを利用する場合、公式リファレンスを参考に、PowerAutomateの形式にコマンドを書き換える必要がある。

Curlの場合 (公式リファレンス)

```
curl https://api.openai.com/v1/chat/completions \
  -H "Content-Type: application/json" \
  -H "Authorization: Bearer $OPENAI_API_KEY" \
  -d '{
    "model": "gpt-4o",
    "messages": [
      { "role": "user", "content": "hello!" }
    ]
  }'
```

PowerAutomateの場合

POST URLの指定

APIキー指定

モデルの指定

ユーザーの質問を入力

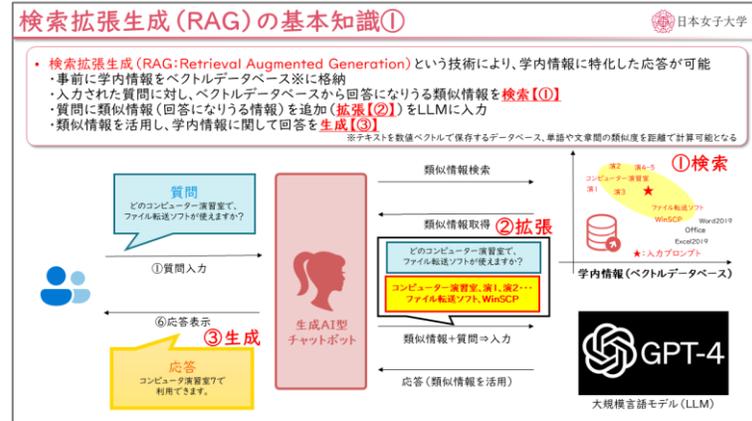
3. 検索拡張生成 (RAG) を活用した生成AI問合せサービスを体験しよう!

ユーザーインターフェース	問合せエージェント	自動化ツール	生成AI 言語モデル	ベクトルデータベース
提供企業 Microsoft	Microsoft Copilot Studio	Power Automate	OpenAI GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
ツール Teams	Copilot Studio	Power Automate	GPT-4o-mini (API) 大規模言語モデル GPT-4	Assistants API ベクトルストア
機能	質問を受取 応答を表示	質問を生成AIに渡す 応答をCopilotに渡す	応答を生成	学内情報を保存・検索
ハンズオン	1. シナリオ型チャットボットを体験しよう!		2. 生成AI型チャットボットを体験しよう!	

検索拡張生成 (RAG) の基本知識①

- 検索拡張生成 (RAG: Retrieval Augmented Generation) という技術により、学内情報に特化した応答が可能
- 事前に学内情報をベクトルデータベース※に格納
- 入力された質問に対し、ベクトルデータベースから回答になりうる類似情報を検索(①)
- 質問に類似情報(回答になりうる情報)を追加(拡張(②))をLLMに入力
- 類似情報を活用し、学内情報に関して回答を生成(③)

※テキストを数値ベクトルで保存するデータベース、単語や文単間の類似度を距離で計算可能となる



①検索

②拡張

③生成

生成AI型チャットボット

大規模言語モデル (LLM)

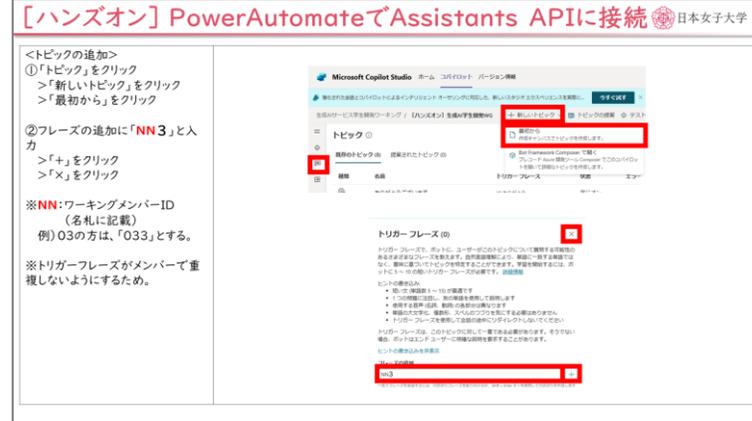
[ハンズオン] PowerAutomateでAssistants APIに接続

<トピックの追加>

- 「トピック」をクリック > 「新しいトピック」をクリック > 「最初から」をクリック
- フェーズの追加に「NN3」と入力 > 「+」をクリック > 「x」をクリック

※NN: ワーキングメンバーID (名札に記載) 例) 03の方は、「033」とする。

※トリガーフェーズがメンバーで重複しないようにするため。



3-3. 対面ワーキング (ハンズオン)

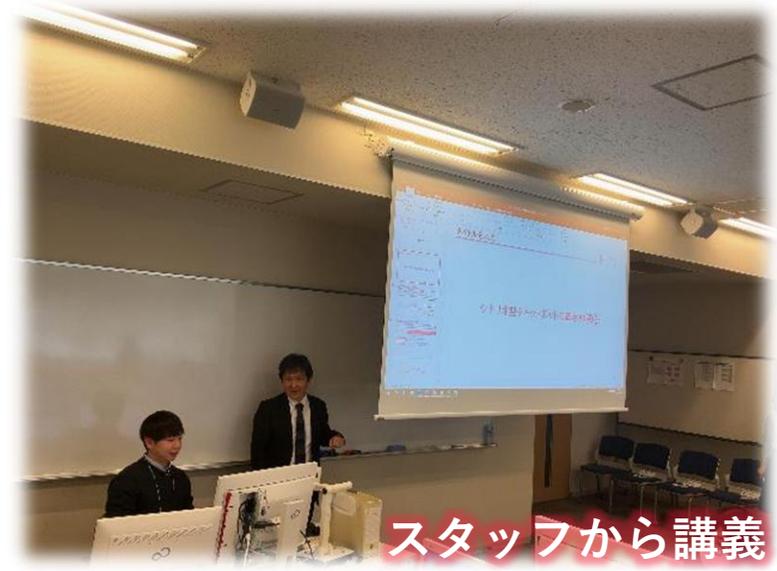
まずは、自己紹介から



真剣に聞く学生メンバー



スタッフから講義



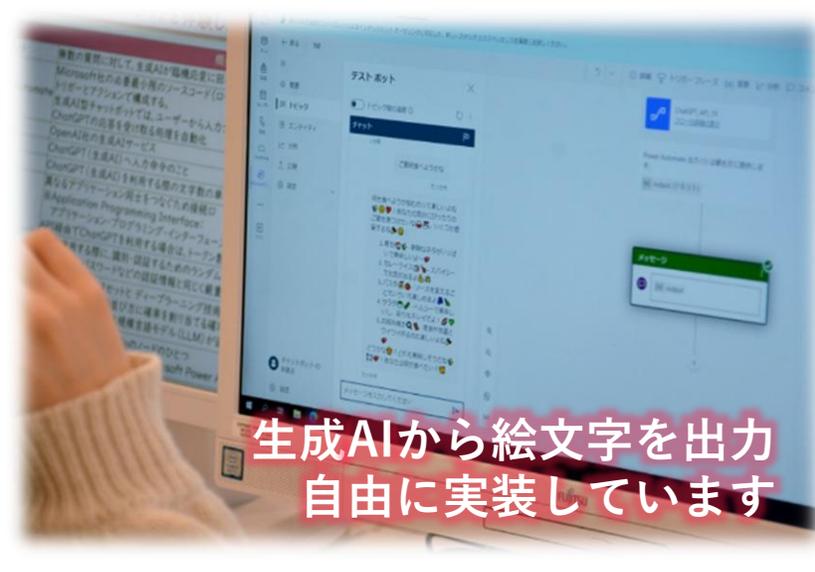
躓いたらスタッフがフォロー



ハンズオンも楽しんでます。



生成AIから絵文字を出力
自由に実装しています



生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

提案者：●グループ 氏名



ロゴイメージ(手書き・写真等をアップロード)

サービス名

JWU-GPT

トリガーフレーズ

gpt

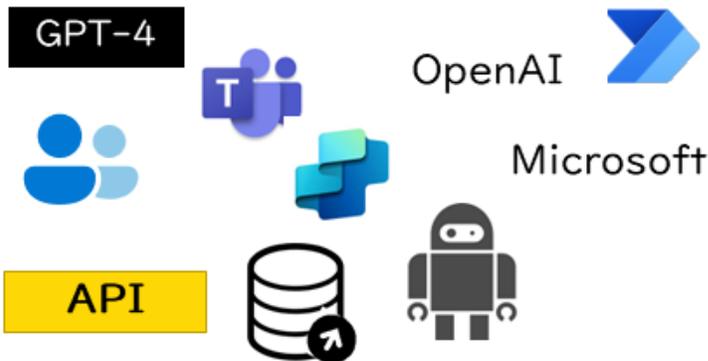
語尾

・・・だボット！！

サービス概要

- ・ 学生が24時間・365日・どこでも大学に問合せができ、疑問を解消できる
- ・ 大学の膨大なHP情報やその他資料から自身で検索するのではなく、質問を投げかけることで迅速に質問の回答をもらえる
- ・ 学生が使い慣れたTeamsより気軽に質問が可能

今後の改善案(どのような情報の回答があるとよいか?等)



サービス構成

3-3. 対面ワーキング(グループワーク)

生成AIサービスについて真剣に企画



とても、和気あいあいとしています。



こちらのグループも楽しそうです。



企画をプレゼン!!



皆さんしっかりした説明です。



最後に、一日を総括しました。

3-3. 対面ワーキング(グループワーク)

生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

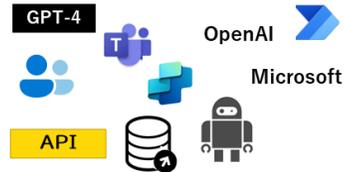
日本女子大学

提案者：Aグループ



ロゴイメージ (手書き・写真等をアップロード)

サービス名
Jwu-PotPon
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ぼっとぼん
語尾
・・・だぼん! (うざくならない程度にかわいく優しく)
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学学生が24時間いつでも学内の疑問を解決することができる ・ ジャスミンナビやmanaba等での検索をしなくてもよい ・ 質問をすれば瞬時に回答がかえってくる ・ わざわざ大学に問い合わせたり、HPで検索したりする手間を省き、学生が手早くほしい情報に辿り着けるようにする。
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)



サービス名
AIメジロ先生
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
教えてメジロ先生
語尾
...にゃん
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が24時間・365日・どこでも大学に問い合わせができ、疑問を解消できる。 ・ 大学の膨大なHP情報やその他資料から自身で検索するのではなく、質問を投げかけることで迅速に質問の回答をもらえる ・ 学生が使い慣れたTeamsより気軽に質問が可能 ・ 以前のチャットボットよりも幅広い質問に対応できる ・ チャットの内容が保存されるため見返せる
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位計算をできるようにする ・ おすすめの授業を教えてください ・ 生協関連の情報も欲しい(学食等)

生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

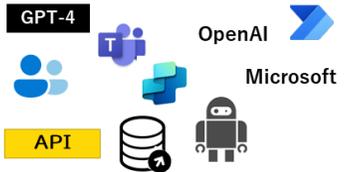
日本女子大学

提案者：Bグループ



ロゴイメージ (手書き・写真等をアップロード)

サービス名
AIメジロ先生
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
教えてメジロ先生
語尾
...にゃん
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が24時間・365日・どこでも大学に問い合わせができ、疑問を解消できる。 ・ 大学の膨大なHP情報やその他資料から自身で検索するのではなく、質問を投げかけることで迅速に質問の回答をもらえる ・ 学生が使い慣れたTeamsより気軽に質問が可能 ・ 以前のチャットボットよりも幅広い質問に対応できる ・ チャットの内容が保存されるため見返せる
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位計算をできるようにする ・ おすすめの授業を教えてください ・ 生協関連の情報も欲しい(学食等)



サービス名
おたすけぼんちゃん
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ぼん
語尾
～ぼん!
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が困ったときにいつでも質問を答えてくれる。(24時間) ・ 質問を投げかければAIが自動で検索して回答をしてくれる。 ・ Teamsを利用するため、誰でも簡単に利用することができる。 ・ 空き教室の検索 ・ 印刷ポイントの残高表示 ・ 授業教室の表示 ・ 履修登録について ・ 今日の学食、キッチンカー ・ 図書館の書籍検索 ・ サークルの活動内容

生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

日本女子大学

提案者：Cグループ



ロゴイメージ (手書き・写真等をアップロード)

サービス名
おたすけぼんちゃん
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ぼん
語尾
～ぼん!
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が困ったときにいつでも質問を答えてくれる。(24時間) ・ 質問を投げかければAIが自動で検索して回答をしてくれる。 ・ Teamsを利用するため、誰でも簡単に利用することができる。 ・ 空き教室の検索 ・ 印刷ポイントの残高表示 ・ 授業教室の表示 ・ 履修登録について ・ 今日の学食、キッチンカー ・ 図書館の書籍検索 ・ サークルの活動内容



サービス名
おしえてなせさん!!!
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ねえねえ
語尾
セキュリティ関連のときは”・・・だセキュ、他は“・・・である。”
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ ChatGPTのようにチャットで質問したらすぐに答えが返ってくるサービス。 ・ 授業や講演等に関する情報も簡単に得ることができる。 ・ 学校の年間予定や行事についての情報が得られる。 ・ 情報セキュリティについて教えてくれる。 ・ 日本女子大学をもっと好きになるサービス。 ・ 質問の文章を入れて、質問内容が書いてあるページと簡単にまとめた質問の答えをくれる。 ・ JWUに通う学生がわからないことがあったときに、365日、24時間アクセスでき質問できる。
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ サークルなどの情報も得ることができるようにすると嬉しい。サークルのインスタやツイ

生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

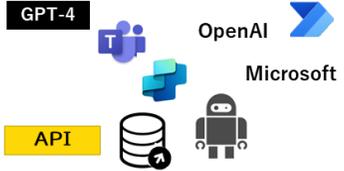
日本女子大学

提案者：Dグループ



ロゴイメージ (手書き・写真等をアップロード)

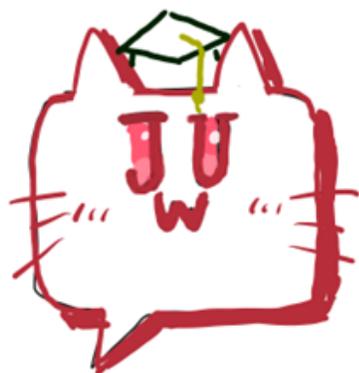
サービス名
おしえてなせさん!!!
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ねえねえ
語尾
セキュリティ関連のときは”・・・だセキュ、他は“・・・である。”
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ ChatGPTのようにチャットで質問したらすぐに答えが返ってくるサービス。 ・ 授業や講演等に関する情報も簡単に得ることができる。 ・ 学校の年間予定や行事についての情報が得られる。 ・ 情報セキュリティについて教えてくれる。 ・ 日本女子大学をもっと好きになるサービス。 ・ 質問の文章を入れて、質問内容が書いてあるページと簡単にまとめた質問の答えをくれる。 ・ JWUに通う学生がわからないことがあったときに、365日、24時間アクセスでき質問できる。
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ サークルなどの情報も得ることができるようにすると嬉しい。サークルのインスタやツイ



サービス名
おしえてなせさん!!!
トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)
ねえねえ
語尾
セキュリティ関連のときは”・・・だセキュ、他は“・・・である。”
サービス概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ ChatGPTのようにチャットで質問したらすぐに答えが返ってくるサービス。 ・ 授業や講演等に関する情報も簡単に得ることができる。 ・ 学校の年間予定や行事についての情報が得られる。 ・ 情報セキュリティについて教えてくれる。 ・ 日本女子大学をもっと好きになるサービス。 ・ 質問の文章を入れて、質問内容が書いてあるページと簡単にまとめた質問の答えをくれる。 ・ JWUに通う学生がわからないことがあったときに、365日、24時間アクセスでき質問できる。
今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ サークルなどの情報も得ることができるようにすると嬉しい。サークルのインスタやツイ

生成AI型問合せチャットボットサービス 企画書

提案者：Bグループ



ロゴイメージ (手書き・写真等をアップロード)



サービス構成

サービス名

AIメジロ先生

トリガーフレーズ (生成AIを呼び出すためのフレーズ)

教えてメジロ先生

語尾

...にゃん

サービス概要

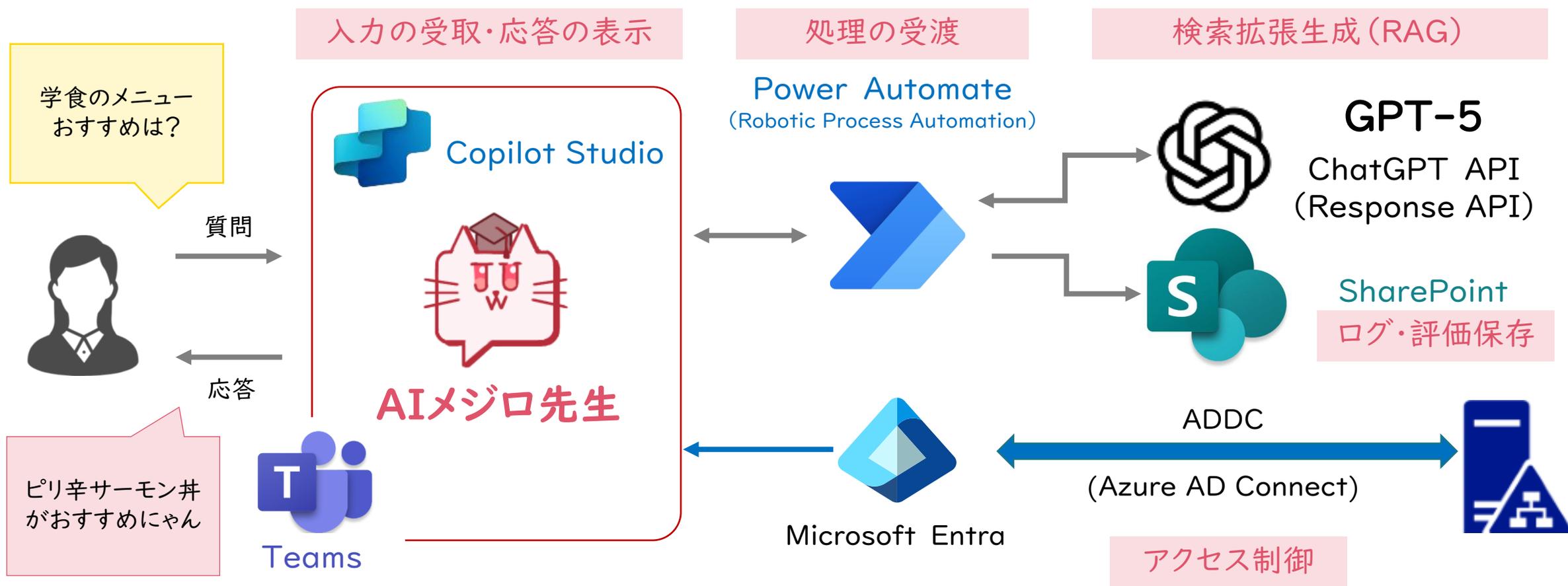
- ・ 学生が24時間・365日・どこでも大学に問い合わせができ、疑問を解消できる。
- ・ 大学の膨大なHP情報やその他資料から自身で検索するのではなく、質問を投げかけることで迅速に質問の回答をもらえる
- ・ 学生が使い慣れたTeamsより気軽に質問が可能
- ・ 以前のチャットボットよりも幅広い質問に対応できる
- ・ チャットの内容が保存されるため見返せる

今後の改善案 (どのような情報の回答があるとよいか?等)

- ・ 単位計算をできるようにする
- ・ おすすめの授業を教えてくれるようにする
- ・ 生協関連の情報も欲しい(学食等)

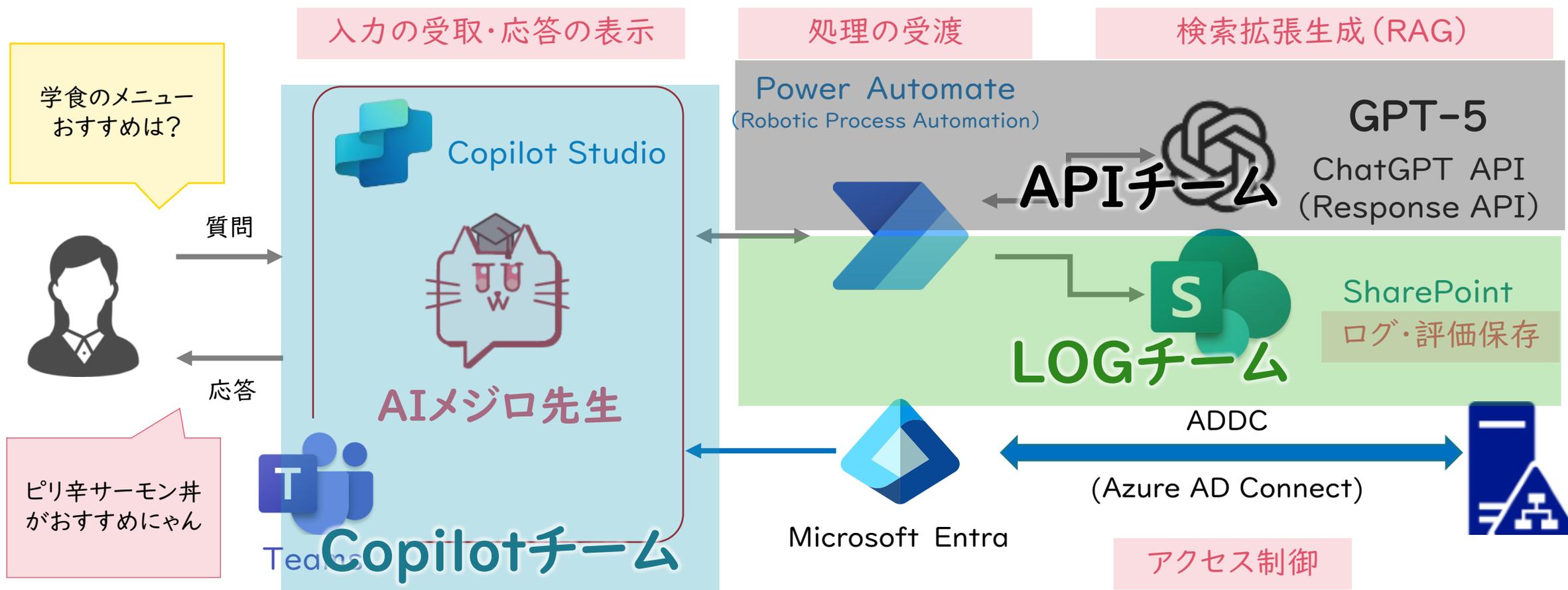
3-4. 構築ワーキング

- 構築ワーキングでは、採用された企画書に従い、3つのチームに分かれて構築を実施
レクチャーはせずに実施内容のみを提示して、作業を実施
- ① Copilotチーム: ユーザーとのやり取りを構築
- ② APIチーム : 生成AIとCopilotの接続を構築
- ③ LOGチーム : やり取りのログをSharepointに格納



3-4. 構築ワーキング

- 構築ワーキングでは、採用された企画書に従い、3つのチームに分かれて構築を実施
レクチャーはせずに実施内容のみを提示して、作業を実施
- ① Copilotチーム: ユーザーとのやり取りを構築
- ② APIチーム: 生成AIとCopilotの接続を構築
- ③ LOGチーム: やり取りのログをSharepointに格納





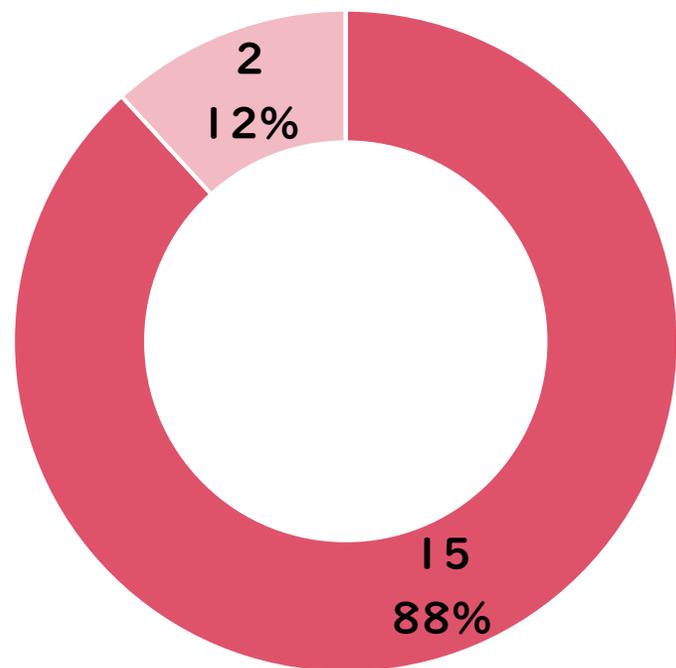
こんなことが回答できるにやん!!

- ・学費納入に関すること
 - ・学生生活全般について
(奨学金、保険、落とし物、実習期間、学生証、証明書発行)
 - ・メディアセンターへの問い合わせ全般
 - ・就職相談の予約・相談について
 - ・OG名簿利用について
 - ・図書館利用案内
 - ・PROGテストに関すること
 - ・学食のメニュー
- 等

3-5. 学生アンケート

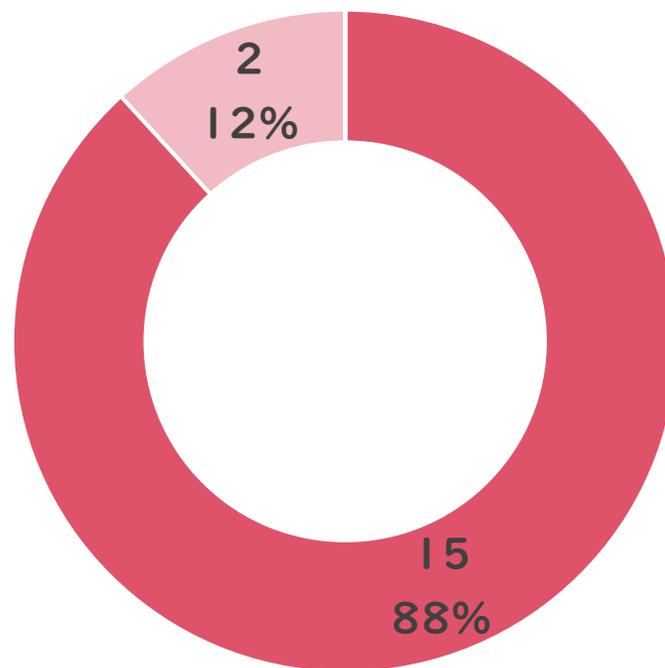
ワーキング評価

- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 悪かった
- とても悪かった



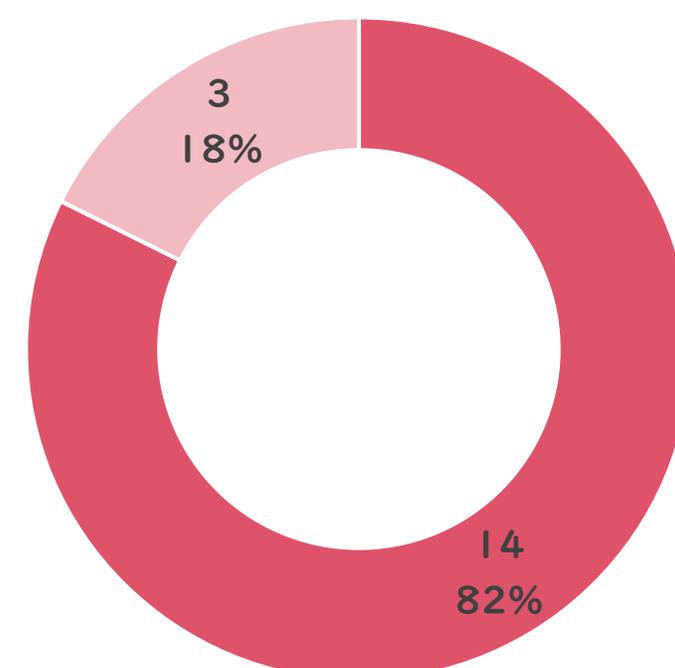
ハンズオン評価

- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 悪かった
- とても悪かった



グループワーク評価

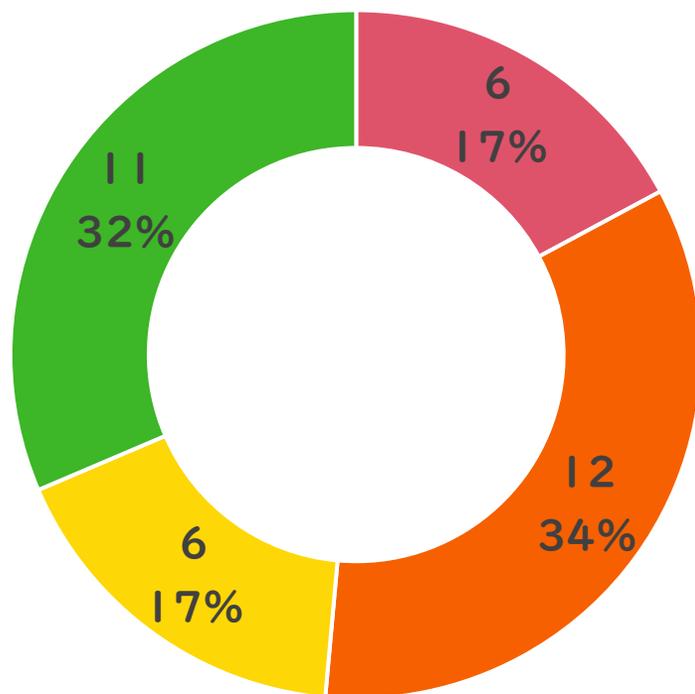
- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 悪かった



3-5. 学生アンケート

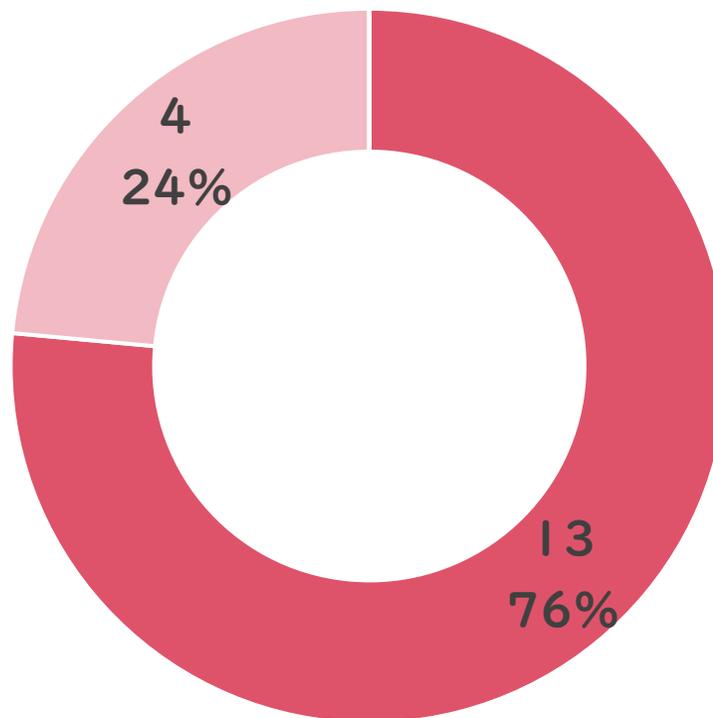
楽しかった内容

- シナリオ型チャットボットの体験
- 生成AI型チャットボットの体験
- RAGを活用した生成AI問い合わせサービスの体験
- グループワーク



今後も参加したい ですか？

- 是非参加したい
- 参加したい
- どちらともいえない
- 参加したくない
- 参加しない



とっても楽しかった！

開発の裏側を知ること
で、生成AIがもっと身近になりました。
自分でももっと考えてみたいです！

興味のある分野だったので、
より楽しく学べました。

リリースされたら
積極的に使いたいです。

3-5. 学生アンケート

リアルタイムな学内情報を提供したい!!

- ・「今」の状況: 図書館やPC演習室の開館時間、現在の空き教室。
- ・生活情報: キッチンカーの出店状況
- ・授業変更: 休講情報や時間割変更

履修・授業のサポートをしたい!!

- ・履修相談: おすすめの授業、先輩の過去の履修例、単位計算機能。
- ・キャンパスナビ: 「〇〇教室はどの建物の何階?」や、各課の窓口案内。
- ・事務手続き: 欠席届などの書類がチャットから直接ダウンロードできたら便利

システム・使い勝手の改善したい!!

- ・会話のテンポ: 回答スピードを速くしたい
- ・機能拡張: 語尾が日替わりで変わる(キャラ付け)、サークルのSNSへのリンク。
- ・運用面: 情報追加のリクエストや、フィードバック機能が欲しい。

3-5. 学生アンケート

リアルタイムな学内情報を提供したい!!

- ・「今」の状況: 図書館やPC演習室の開館時間、現在の空き教室。
- ・生活情報: キッチンカーの出店状況
- ・授業変更・休講情報や時間割変更

- ・熱量のある学生との連携の重要性
- ・柔軟な開発環境への転換の必要性

システム・使い勝手の改善したい!!

- ・会話のテンポ: 回答スピードを速くしたい
- ・機能拡張: 語尾が日替わりで変わる(キャラ付け)、サークルのSNSへのリンク。
- ・運用面: 情報追加のリクエストや、フィードバック機能が欲しい。

1. 日本女子大学のDX取組

- 1-1. 日本女子大学のDX取組(人材育成)
- 1-2. 日本女子大学のDX取組(データ基盤)

2. 生成AI対話プラットフォーム(JWU-GPT)

- 2-1. 生成AI対話プラットフォームの検討背景
- 2-2. 生成AI対話プラットフォームの概要
- 2-3. 検索拡張生成(RAG)を活用した学内情報検索機能
- 2-4. ローコード開発

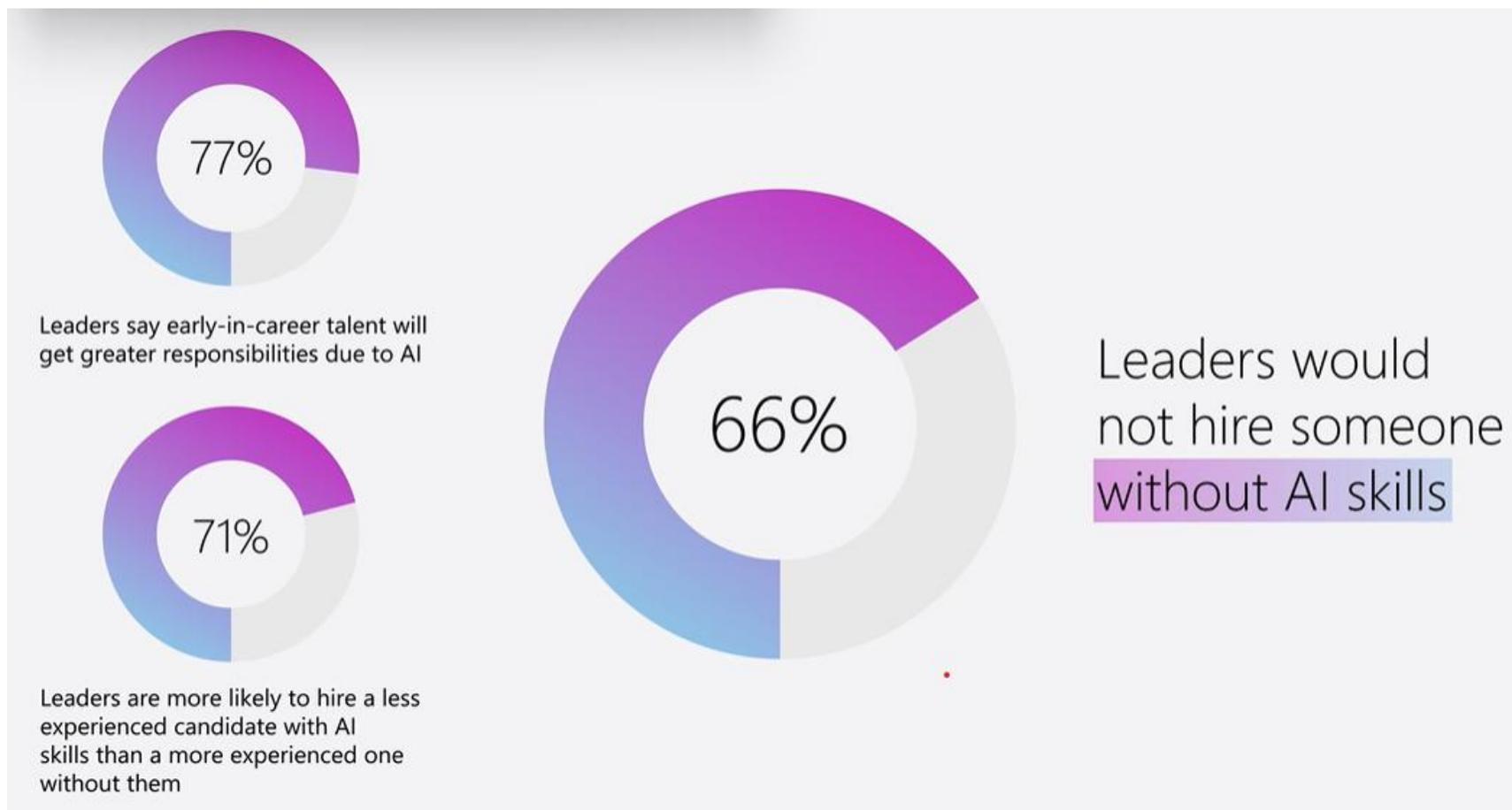
3. 生成AIサービス学生開発ワーキング

- 3-1. 生成AIサービス学生開発ワーキングの概要
- 3-2. 生成AIサービス学生開発ワーキングの取組
- 3-3. 対面ワーキング
- 3-4. 構築ワーキング
- 3-5. 学生アンケート

4. 学生×教員×職員協働の今後

- 4-1. バイブコーディング
- 4-2. バイブコーディングの検証
- 4-3. 今後の展望

- Microsoft社の調査(31カ国31,000人 および 米国フォーチュン500)では、66%が「AIスキルがない人は採用しない(採用したくない)」と回答



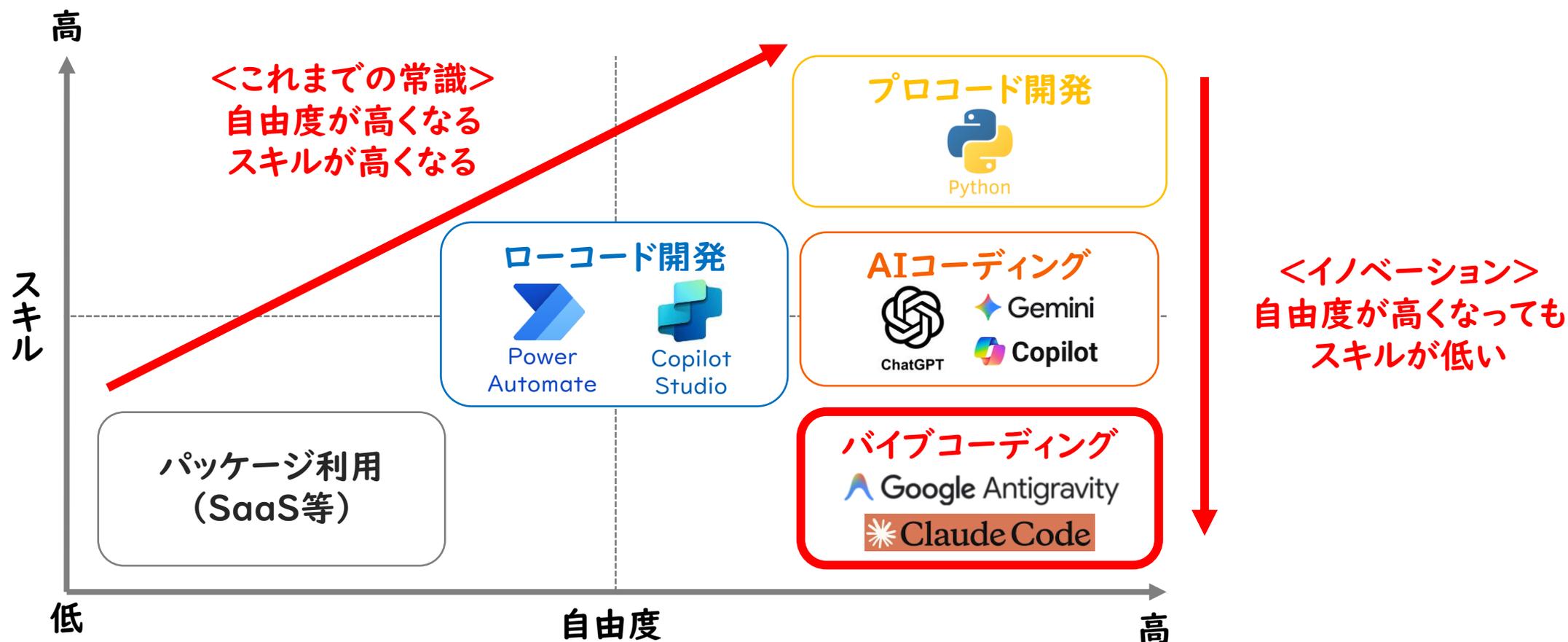
4-1. バイブコーディング (Vibe Coding)

- バイブコーディング (Vibe Coding) とは、AIコーディングにおける比較的新しい概念、AIと対話しながら、**「雰囲気・意図 (Vibe)」でシステム開発を進めるプログラミング手法**
- 凄腕エンジニア (AI) に口頭で指示して、フィードバックをして完成させるイメージ

		AIコーディング	バイブコーディング
人	役割	エンジニア (実務者)	ディレクター (意思決定者)
	作業	コードの読み書き ロジック構築	雰囲気・意図 (Vibe) の言語化
AI	役割	プログラマー	エンジニア
	作業	コードの生成・補完・バグ修正	全体設計・UI構築・フルスタック実装
イメージ		優秀なプログラマー (AI) と ペアプログラミングでコーディング	凄腕エンジニア (AI) に口頭で指示して、 フィードバックをして完成させる

4-1. バイブコーディング (Vibe Coding)

- ローコード開発は「簡易さ」を実現したが、代償として「自由度」が低かった
- これまでは「自由度を高めるには、高いスキルが必要」というのが常識
- バイブコーディングは「高自由度なのに低スキル」を実現し、その常識を覆した



4-1. バイブコーディング (Vibe Coding)

- 各社から、バイブコーディングツールが提供されている



Google Antigravity

Google社

Antigravity
(アンチグラビティ)



AWS社

KIRO
(キロ)



Copilot Workspace

Microsoft社

GitHub Copilot
Workspace
(ギットハブ コパイロット
ワークスペース)



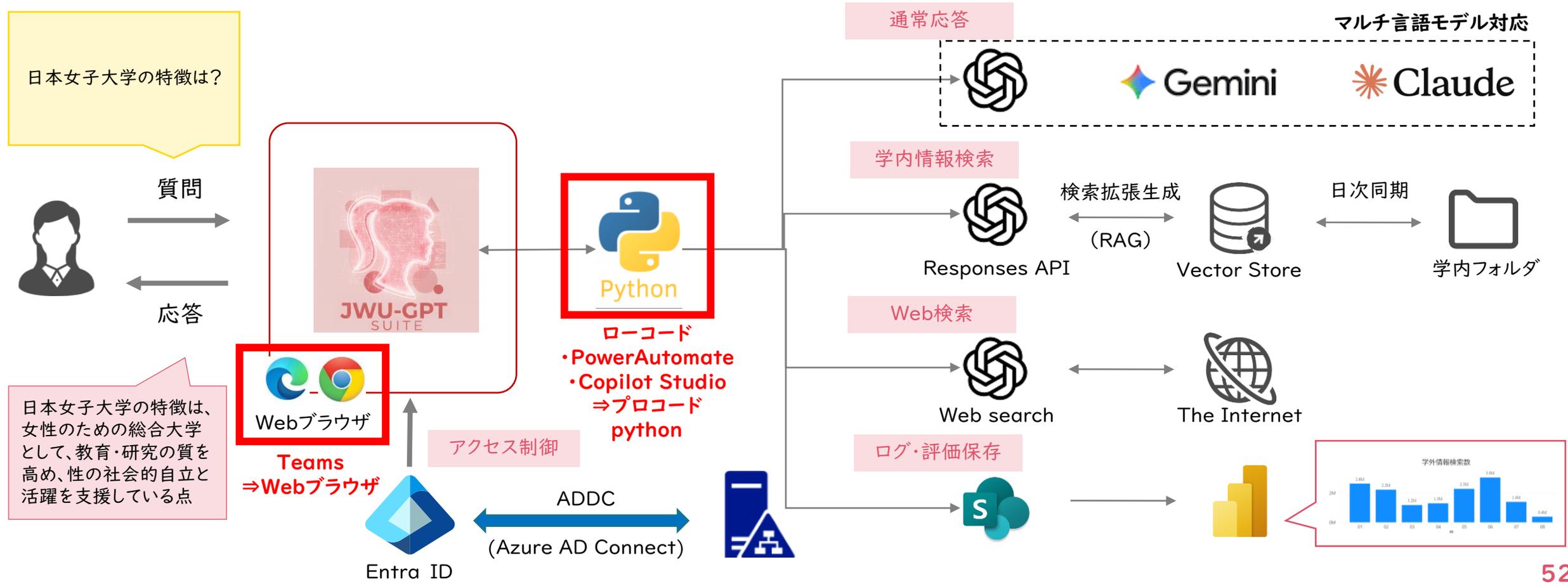
Claude Code

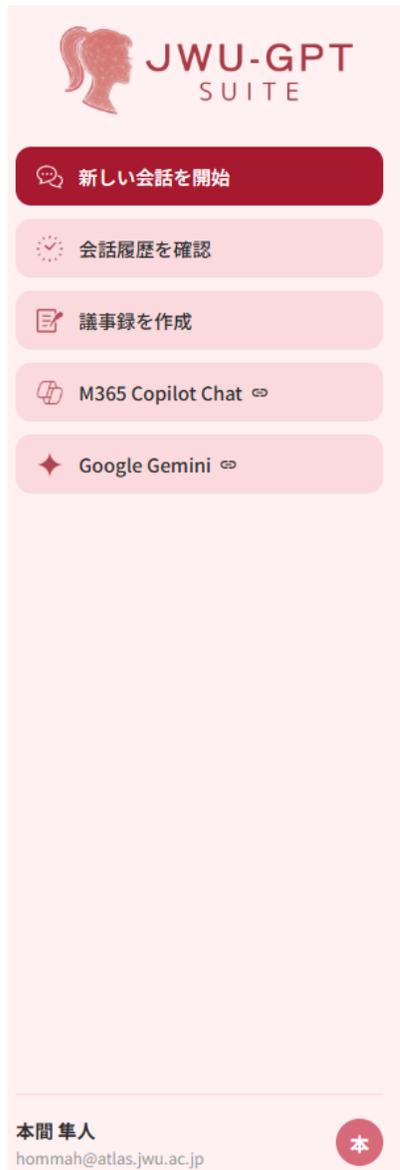
Anthropic社

Claude Code
(クロードコード)

4-2. バイブコーディングの検証

- **Teams**から利用する本学専用の生成AIサービス (JWU-GPT) の後継として、**Webブラウザ**経由で利用する本学専用の生成AI統合サービス (JWU-GPT SUITE) を構築できるか検証
- **ローコード (Power Automate/Copilot Studio)** から**プロコード (Python)** での開発を試みる





The screenshot shows the JWU-GPT SUITE interface. At the top left is the logo with a woman's profile and the text "JWU-GPT SUITE". Below the logo are five buttons: "新しい会話を開始" (Start new conversation), "会話履歴を確認" (Check conversation history), "議事録を作成" (Create meeting minutes), "M365 Copilot Chat" (with a refresh icon), and "Google Gemini" (with a refresh icon). At the bottom left, it says "本間 隼人" (Honna Hayato) and "hommah@atlas.jwu.ac.jp". At the bottom right is a red circular button with the character "本" (Hon).

こんにちは!何をお手伝いしましょうか?

質問を入力して、応答の生成方法を選んでください。

- **Enter**:通常の生成AIから応答生成
- **学内検索**:学内情報から応答生成
- **Web検索**:Web上の情報から応答生成

Message JWU-GPT SUITE...

 gpt-4o ▾

 学内検索 ▶

 Web検索 ▶



エクスプローラー

- ▼ jwugpt
 - > __pycache__
 - > logs
 - ▼ modules
 - > __pycache__
 - __init__.py
 - chat - コピー.py
 - chat_log.py
 - chat.py
 - config.py
 - history.py
 - meeting.py
 - token_log.py
 - ▼ settings
 - secrets.json
 - vector_store_id.csv
 - ▼ static
 - campus_search_icon.png
 - chat_history.png
 - copilot_chat_icon.png
 - google_gemini_icon.png
 - jwugpt_suite_banner.png
 - jwugpt_suite_icon.png
 - meeting_minutes_copy_icon.png
 - meeting_minutes_icon.png
 - model_icon.png
 - new_chat_icon.png
 - responsive.css
 - web_search_icon.png
 - ▼ templates
 - chat.html
 - history.html
 - meeting.html
 - sidebar - コピー.html
 - sidebar.html
 - > venv
 - jwugpt.py
 - requirements.txt
 - web.config

▼ アウトライン

▼ タイムライン

0 0 0



Antigravity

Switch to Agent Manager Ctrl + E

Code with Agent Ctrl + L

Edit code inline Ctrl + I

Agent

jwugpt

sidebar.htmlを修正してサイドバーを大阪ばいデザインにしてください。
chat.pyを修正してチャットの生成AIの回答を関西弁に修正してください。

+ Fast Gemini 3 Pro (High) [Microphone] [Send]

Update Meeting Prompt Text 11d

Mobile Menu Layout Adjustment 12d

Mobile Menu & Button Layout 12d

See all

AI may make mistakes. Double-check all generated code.

Antigravity - Settings

4-2. バイブコーディングの検証



新しい会話を開始

会話履歴を確認

議事録を作成

M365 Copilot Chat

Google Gemini

本間 隼人

hommah@atlas.jwu.ac.jp

本

大阪のおすすめグルメは？



ええやん！大阪には美味しいもんがぎょうさんあるで！まずは「たこ焼き」やね。外はカリッと、中はとろっとしてて、ソースとマヨネーズがたまらんわ〜。

ほんで、「お好み焼き」も忘れんといてや！自分好みの具材入れて、ジュージュー焼くのが楽しいんやで。豚玉とか海鮮玉がええ感じや。

あと、「串カツ」もおすすめやで。揚げたての串カツをソースにドボン！二度漬け禁止やけど、一度漬けでも十分美味しいんや。

最後に、「551の蓬莱の豚まん」。アツアツの肉汁がじゅわ〜っと出てくる豚まんは、一度食べたらくせになるで。どれもこれも食べなあかんで！

Message JWU-GPT SUITE...

gpt-4o

学内検索

Web検索

4-3. 今後の展望

- 熱量ある学生の思いに応えるため、パートナーとしての関係を構築する予定
- バイブコーディングを軸に、教職員のサポートの元、学生に思いを形にする経験を提供
- 学生×教員×職員の協働によって、全員にメリットをもたらす改革を推進を検討中

リアルタイムな学内情報を提供したい!!

熱量のある学生
思いを形にする経験



履修・授業のサポートをしたい!!

システム・使い勝手の改善したい!!

職員
学生目線を取り入れた改革



Google Antigravity

KIRO

Claude Code

柔軟な開発環境
(バイブコーディング)

教員

新しい実経験の提供



4-3. 今後の展望

空コマで、大学をAIとITで変えてみよう。

JWU-DX あとりえ (仮称)

学生アルバイト募集!



ここすぞい! 4つのメリット

-  最先端IT・AIを手を動かして学べる
Google・Microsoft・Amazon Web Services等
-  「想いを形にする」サービス実装経験
社会人でも難しい経験
-  サービスを大学に正式リリース
強力なガクチカの体験談
-  空コマを有効に活用して
大学内で仕事ができる
企業・他大学との交流も計画

仕事内容

- ・システム企画・提案
- ・システム実装補助 (生成AI・職員支援)
- ・サービス広報活動
- ・サービス運用支援

募集概要

対象：日本女子大学 学部生・大学院生
※学部・学科問わず

人数：2～3名
※応募者多数の場合は要相談

時給：1,230円
期間：2026年4月～7月 (予定)
時間：週2～3時間 (柔軟に対応)
場所：メディアセンター

応募登録はこちら
お気軽に応募!

日本女子大学
管理部 システム課 /メディアセンター

JWU-DX あとりえ (仮称)

- ✓ 女子大らしいネーミングを意識
- ✓ 学生の創造性、芸術性をDXとして昇華させたい
- ✓ 「ひらがな」でカジュアル、オープンな環境をイメージ

<コンセプト>

- ✓ 空コマでAIとITを使って、大学を変えてしまう
- ✓ 最先端のIT・AI技術を駆使
(Google/Microsoft/AWS/Anthropic)
- ✓ 想いを形にするサービス実装経験
- ✓ サービスを大学に公式リリース
(強力なガクチカ)

●教員・職員と生成AI

- ✓ 学園全体のDX推進の一環として、**生成AI**の教職員全員への提供を検討
- ✓ **ローコード開発**により、大学専用の対話型プラットフォームを内製化

●学生と生成AI

- ✓ ノウハウを転用し、**生成AIサービス学生開発ワーキング**を実施
- ✓ **学生自ら**が生成AI問合せサービスを提案・構築
- ✓ 学生の**意欲と熱量の高さ**を確認した一方、**ローコード開発の限界**も顕在化

●学生×教員×職員と生成AI

- ✓ **バイブコーディング**の検証の結果、学生のサービス開発環境としてのメリット
- ✓ **学生×教員×職員の三者協働**により、学園のDX推進を加速させたい